
令和7年度 人生の最終段階における医療・ケア検討会議

日時：令和7年9月8日（月） 18：45～20：30

場所：高知県庁 本庁舎2階 第二応接室

次 第

1 開会

2 議題

- (1) 令和8年度県民世論調査項目について
 - ・県民世論調査項目（案） 【資料1】
- (2) リーフレットの見直しについて
 - ・リーフレット見直し（案） 【資料2】
- (3) 令和7年度の事業進捗状況について
 - ・事業進捗状況 【資料3】
- (4) 令和8年度の取り組み予定について
 - ・事業計画（案） 【資料4】

3 閉会



高知県在宅療養推進課

人生の最終段階における医療・ケア検討会議設置要綱

(目的)

第1条 県民一人ひとりが最期まで自分らしく尊厳をもって生きられるよう、人生の最終段階において提供される医療及びケアについて検討するため「人生の最終段階における医療・ケア検討会議」(以下「会議」という。)を設置する。

(協議事項)

第2条 この会議は、前条の目的を達成するため、次の事項について協議する。

- (1) 人生の最終段階において提供される医療及びケアのあり方に関すること。
- (2) ACP (アドバンス・ケア・プランニング) による意思決定の体制整備に関すること。
- (3) ACP (アドバンス・ケア・プランニング) の普及啓発に関すること。
- (4) その他、目的を達成するために必要な事項。

(組織)

第3条 会議の委員は、人生の最終段階における医療・ケアに携わる医療関係者・介護関係者、学識経験者、関係団体及び住民の代表者等で構成する。

- 2 会議に座長を置き、委員の互選により選出する。
- 3 委員が会議に出席できない場合、代理出席を認める。

(会議)

第4条 この会議は、座長が必要に応じて招集し、座長が議長となる。

- 2 議事は、公開とする。

(事務局)

第5条 検討会議の事務局は、高知県健康政策部在宅療養推進課に置く。

(その他)

第6条 この要綱に定めるもののほか、会議の組織及び運営に関し必要な事項は、座長が委員に諮って定める。

附 則

この要綱は、令和元年6月10日から施行する。

この要綱は、令和3年6月9日から施行する。

人生の最終段階における医療・ケア検討会議 委員名簿

氏 名	所属・役職名	備 考
北村 龍彦 (座長)	一般財団法人日本尊厳死協会四国支部・高知 代表	
阿部 恭宜	公益社団法人高知県薬剤師会 常務理事	欠席
伊与木 増喜	一般社団法人高知県医師会 常任理事	
岩崎 美幸	公益社団法人高知県看護協会 看護師職能理事	
大庭 憲史	高知県介護支援専門員連絡協議会 理事	
北岡 智子	国立大学法人高知大学医学部附属病院 緩和医療科 准教授	
公文 理賀	一般社団法人高知県社会福祉士会	
長瀬 美和	一般住民代表 (高知県連合婦人会 副会長)	
中本 雅彦	高知県医療ソーシャルワーカー協会 会長	
福田 晃代	高知県老人福祉施設協議会 副会長	
堀 洋子	一般住民代表 (高知県医療審議会保健医療計画評価推進部会委員)	
松本 務	あおぞら診療所高知潮江 所長	
森下 幸子	高知県公立大学法人高知県立大学 准教授	
安岡 しずか	公益社団法人高知県訪問看護連絡協議会 会長	
依岡 弘明	一般社団法人高知県歯科医師会 副会長	

※敬称略、座長を除き五十音順

事務局職員名簿

所属	役職	氏名	備 考
在宅療養推進課	課長	小野 哲郎	
	課長補佐	中田 和美	
	チーフ（在宅医療担当）	三谷 晴彦	
	主幹	蒲原 弥華	

関係課職員名簿

所属	役職	氏名	備 考
長寿社会課	介護予防・地域支援室長	窪田 純子	
中央東福祉保健所	地域支援室チーフ（地域連携担当）	酒井 美枝	
中央西福祉保健所	地域支援室長	西岡 綾子	
須崎福祉保健所	地域支援室長	島田 千沙	

令和 8 年度県民世論調査質問項目について（案）

1. 調査目的

人生会議の認知度や実施割合が低いという課題に対して、人生会議の普及啓発に取り組んできた。これまでの取り組みの成果として、現在の認知度や実践状況を把握するため、令和 8 年度の県民世論調査に項目（5 の問 1 ～問 3）を追加する予定。

2. 県民世論調査について

- ・ 県民のニーズ、意識などを把握し、県政運営上の基礎資料を得ることを目的とする。
- ・ 調査期間：例年、7 月～9 月頃に実施（参考：令和 7 年度 7～8 月の 29 日間）
- ・ 調査方法：郵送回答、インターネット回答の併用
- ・ 調査対象：県全域から 18 歳以上の県民 3,000 人を抽出

3. 第 8 期高知県保健医療計画の目標

項目	直近値（参考値）
60 歳以上の県民が人生会議（ACP）を実施している割合	介護予防・日常生活圏域ニーズ調査 R4 年度 仁淀川町 38.5% R5 年度 高知市 27.4%

4. 質問項目についての留意事項

- ・ 県民世論調査の質問総数：50～70 問程度を想定
- ・ 単なる認知度調査ではなく、調査結果を分析のうえ政策立案に活用することを想定した内容とする。

5. 項目（案） ※質問数に限りがあるため質問に優先順位をつけることとする。

新（令和8年度）						旧（令和3年度）					
問1 人生会議（アドバンス・ケア・プランニング（ACP））を知っていますか。（1つだけ○印）						問1 人生会議（アドバンス・ケア・プランニング（ACP））を知っていますか。（1つだけ○印）					
		項目						項目			
1		知っている、または聞いたことはある				1		知っている、または聞いたことはある			
2		知らない				2		知らない			
問2 人生の最終段階において、自分自身が大切にしていることや望み、どのような医療やケアを望んでいるかについて、家族などの信頼する人と話し合ったことがありますか。（1つだけ○印）						副問1（問1で「1」を選んだ方のみお答えください。） どのようにして人生会議（アドバンス・ケア・プランニング（ACP））を知りましたか。（1つだけ○印）					
		項目						項目			
1		自分の事として話し合ったことがある				1		テレビ・ラジオ			
2		家族や友人等の事として話し合ったことがある				2		インターネット			
3		話し合ったことはない				3		新聞			
問3 もしあなたが以下の①～④の症状になった場合、人生の最終段階をどこで迎えたいですか。（①～④それぞれに1つだけ○印） ①病気で治る見込みがなく、1年以内に徐々にあるいは急に死に至る場合 ②末期がんと診断（※1） ③慢性の重い心臓病と診断（※1） ④認知症と診断（※2） ※1 状態は悪化し、痛みはなく、呼吸が苦しいといった状態。今は食事や着替え、トイレなどの身の回りのことに手助けが必要。意識や判断力は健康な時と同様に保たれている。 ※2 状態は悪化し、自分の居場所や家族の顔が分からない状態。今は食事や着替え、トイレなどの身の回りのことに手助けが必要。						4		終活セミナーなどの講演会や研修会			
						5		家族や友人、知人			
						6		医療機関			
						7		薬局			
						8		その他			
問2 人生の最終段階をどこで迎えたいと思いますか。（1つだけ○印）											
		項目						項目			
1		自宅				1		自宅			
2		医療機関				2		医療機関			
3		有料老人ホーム、サービス付き高齢者住宅				3		有料老人ホーム、サービス付き高齢者住宅			
4		特別養護老人ホームなどの介護施設				4		特別養護老人ホームなどの介護施設			
5		その他				5		その他			
6		分からない				6		分からない			

第8期高知県保健医療計画の目標値に対する現状値を把握するために、優先的に提案する。4問の提案が可能であれば副問1を追加する。

(参考)

前回調査（令和３年度）の質問内容と回答結果

＜テーマ：在宅療養体制の充実について＞

問１ 人生会議（アドバンス・ケア・プランニング（ACP））を知っていますか。

（１つだけ○印）

（回答者数：１, 795 人）

	項目	回答数	回答比率
1	知っている、または聞いたことはある	238	13. 3%
2	知らない	1, 505	83. 8%
	無回答	52	2. 9%

副問１（問１で「１」を選んだ方のみお答えください。）

どのようにして人生会議（アドバンス・ケア・プランニング（ACP））を知りましたか。

（１つだけ○印）

（回答者数：238 人）

	項目	回答数	回答比率
1	テレビ・ラジオ	81	34. 0%
2	インターネット	32	13. 4%
3	新聞	21	8. 8%
4	終活セミナーなどの講演会や研修会	16	6. 7%
5	家族や友人、知人	29	12. 2%
6	医療機関	44	18. 5%
7	薬局	—	—
8	その他	15	6. 3%
	無回答	—	—

問２ 人生の最終段階をどこで迎えたいと思いますか。（１つだけ○印）

（回答者数：１, 795 人）

	項目	回答数	回答比率
1	自宅	884	49. 2%
2	医療機関	276	15. 4%
3	有料老人ホーム、サービス付き高齢者住宅	51	2. 8%
4	特別養護老人ホームなどの介護施設	62	3. 5%
5	その他	31	1. 7%
6	分からない	361	20. 1%
	無回答	130	7. 2%

リーフレットの見直しについて

1. 配布実績

令和 6 年度

	配布部数	内訳	配布先	備考
初級編	7,469部	970部	市町村等	9市町村
		3,868部	医療機関等	20医療機関、13介護施設
		465部	県民	講座、セミナー
		2,166部	その他	1職能団体、会議、研修会等
元気編	9,304部	2,684部	市町村等	15市町村
		2,560部	医療機関等	21医療機関、11介護施設
		1,611部	県民	講座、セミナー
		2,449部	その他	1職能団体、会議、研修会等
退院編	6,012部	970部	市町村等	8市町村
		2,755部	医療機関等	21医療機関、12介護施設
		2,287部	その他	2職能団体、会議、研修会等

令和 7 年度（令和 7 年 8 月 20 日時点）

	配布部数	内訳	配布先	備考
初級編	2,923部	890部	市町村等	11市町村
		1,595部	医療機関等	23医療機関、5介護施設
		245部	県民	講座、セミナー、企業
		193部	その他	1職能団体、会議、研修会等
元気編	3,059部	1,045部	市町村等	13市町村
		1,240部	医療機関等	24医療機関、4介護施設
		621部	県民	講座、セミナー、企業
		153部	その他	会議、研修会等
退院編	2,159部	690部	市町村等	10市町村
		1,360部	医療機関等	24医療機関、4介護施設
		1部	県民	
		108部	その他	会議、研修会等
親子編	6,179部	1,520部	市町村等	18市町村
		1,670部	医療機関等	29医療機関、4介護施設
		545部	県民	講座、セミナー、企業
		2,444部	その他	会議、研修会等

2. アンケート調査について

リーフレットを活用していただいた関係者に対し、リーフレット内容についてのアンケートを実施

- ・実施期間：令和 7 年 4 月 10 日～ 5 月 2 日
- ・依頼先：各市町村（34か所）、令和 6 年度にリーフレットを配布した機関（117か所）

依頼先数	151
回答数	44

(回答率29%)

3. アンケート集計結果

①初級編

内容を改善してほしい	6	15%
現状のままでよい	33	85%
計	39	100%

<内容を改善してほしいと回答した方の改善案>

詳しく書き残せるツール紹介を追加して欲しい	1
文字・色を見やすくして欲しい	1
STEP3の字体を変えるとよい	1
土佐弁じゃないほうが良い	1
分かりやすい内容にして欲しい ・具体的に何をすればいいか ・治療の内容がイメージできない	2

<その他ご意見>

分かりやすい・見やすい	7
説明しやすい	1
記載できる部分があって良い	1
マンガ形式で親しみやすい	1
小さい文字が読めない	1
文字が多い	2
他リーフレットと同じサイズが良い	1

《変更案》

- ・ ツール紹介を追加
- ・ 土佐弁を修正
- ・ 見やすい文字に修正、文字数の削減
- ・ Step 3 の記入項目を修正

②元気編

内容を改善してほしい	7	21%
現状のままでよい	27	79%
計	34	100%

<内容を改善してほしいと回答した方の改善案>

詳しく書き残せるツール紹介を追加して欲しい	1
文字・色を見やすくして欲しい	1
リーフレットの種類が多いのでまとめてはどうか	1
名前や日付を記入できる枠があると良い	1

<その他ご意見>

分かりやすい・見やすい (色・コンパクト・文字サイズ)	4
記載できる部分があって良い	1
小さい文字が読めない	1
説明には使いにくいサイズ・分かりにくい	1

③退院編

内容を改善してほしい	7	23%
現状のままでよい	24	77%
計	31	100%

<内容を改善してほしいと回答した方の改善案>

詳しく書き残せるツール紹介を追加して欲しい	1
文字・色を見やすくして欲しい	1
リーフレットの種類が多いのでまとめてはどうか	1
「自分らしい暮らしを再確認」ぐらいでよいのではないか	1
「入院・入所をきっかけに」の方が関係機関が進めやすい	1
名前や日付を記入できる枠があると良い	1

<その他ご意見>

分かりやすい・見やすい (コンパクト・具体的・文字サイズ)	3
説明しやすい	1
手に取りやすい	1
記載できる部分があって良い	1
小さい文字が読めない	1

元気編・退院編

《変更案》

- ・ 見やすい文字、配色に修正、文字数の削減
- ・ 名前、日付の記入欄を追加、記入スペースの拡大

「人生会議」してみませんか？



人生会議 (ACP※) とは？

自分自身が大切にしていることや望み、どのような医療やケアを望んでいるかについて前もって考え、信頼する人たちと話し合うことです。(※アドバンス・ケア・プランニングの略)



製作・発行

高知県 健康政策部 在宅療養推進課
〒780-8570 高知県高知市丸ノ内1丁目2番20号
TEL:088-823-9104 FAX:088-823-9137

Step3 何を話しあったらいいの？

1. あなたの大切にしていることは何ですか？ (いくつ選んでも構いません。)

- | | |
|--|---------------------------------------|
| ☐ 家族や友人のそばにいたいこと | ☐ ひとりの時間が保てること |
| ☐ 仕事や社会的な役割が続けられること | ☐ 好きなことができること |
| ☐ できる限りの医療が受けられること | ☐ 家族の負担にならないこと |
| ☐ 痛みや苦しみがでないこと | ☐ 経済的に困らないこと |
| ☐ その他 () | |

2. あなた自身の事をよく理解してくれている、信頼できる人は誰ですか？

あなたが考えや気持ちを伝えられなくなった時に、あなたの代わりに「どこで、どのような医療やケアを受けるか」などについて相談し話し合う人のことで、法的な権利はなく、財産分与などにはかかりません。

以下のような人が考えられます。

配偶者 (夫、妻)	子ども
きょうだい 親戚 (姪・甥など)	友人
親	医療・介護従事者

信頼できる人が決まっていれば、お名前と理由も含めてお書きください。
(あてはまる人がいない場合、「頼める人はいない」とお書きください。)

3. 人生の最後をどこで迎えたいですか？

- ☐ 自宅 ☐ 医療機関 ☐ 介護施設 ☐ 分からない
☐ その他 ()

4. あなたが病気やケガにより、自分の考えが伝えられなくなった時に、あなたが望む治療は何ですか？

- ☐ 一日でも長く生きられるような治療
☐ 痛みや苦しみがなく、自分らしさを保つことに焦点を当てた治療
☐ できるだけ自然な形で最期を迎えられるような必要最小限の治療

そう考えた理由をお書きください。

あなたのお名前 :

話し合った日 : 年 月 日

話し合った場所 :

話し合いの参加者 (信頼できる人を含む) :

Step1 「人生会議」って何？

?? 「人生会議」って、最近たまに聞くけど、どういう意味？  1	「人生会議（ACP）」とは、これからのあなたの人生で、何を大切にしていくななどをあなたの信頼する人たちと話し合うことを言います。  2
意味はわかったけど、体もまだまだ元気だし、急いで話し合わなくても大丈夫。  3	いつ、命に関わる大きな病気やケガをするかわかりません。その時に備えて、あらかじめ話し合いをしておくことが大切です。  4
じゃあ 今度、皆が集まったときにでも話してみようかな。  5	「人生会議」を重ねることで、ご自分の気持ちを話せなくなった「もしものとき」に、あなたの思いを伝えることができ、あなたの大切な人の心のご負担を軽くすることができます。  6

Step2 どうやって話しあったらいいの？

いつ？ どこで？

話し合う時期や、場所はいつ・どこでも大丈夫です。
家族・友人が集まる機会に、話し合ってみましょう。

誰と？

家族、親しい友人、ご本人の治療に当たっている医師、看護師、ケアマネジャー、介護従事者の方などが候補となります。
ご自身が信頼できる方と話し合ってみましょう。

何を？

- ① あなたの大切にしていること
- ② あなたが信頼している人
- ③ あなたが伝えたいこと

などを、その理由も含めて話し合ってみましょう。

<便利アイテム①>

高知県が開発したフレイル状態を簡単にチェックできるアプリ



<便利アイテム②>

家じまいに向けて今からできること

などをまとめた
エンディング
ノート形式の
冊子



<便利アイテム③>

10分でわかる看取りのアニメーション動画

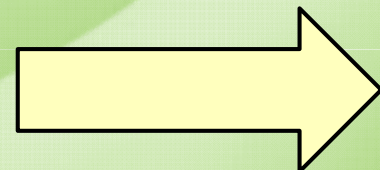
(安芸市在宅医療・介護連携推進プロジェクト会議作成)



治療方針について主治医と家族で話し合い



次のページに
話し合いの具体的な様式(例)
について掲載しています。





将来に備えて 準備を始める

自分の周りのいろいろなものを
引き継ぐ準備を始めましょう。
元気なうちだからこそ進んで整
理に取りかかりましょう。



まずは、身の回りの整理から。
例えば手紙や写真などの大事
な思い出の品や、使っていない
銀行口座など。

**ご自身を振り返る良いきっか
けにもなります。**

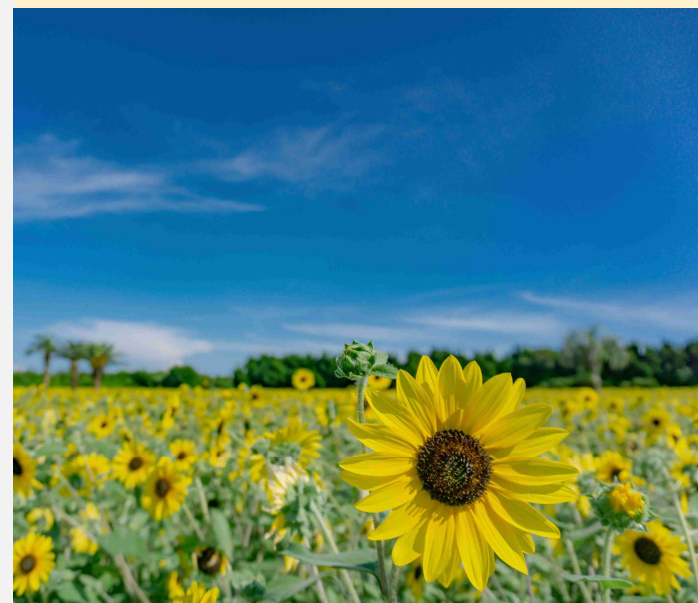
あなたの**将来への心づもり**を
自由に書き出してみよう

日付	年 月 日
氏名	
楽しむこと	(記載例) 趣味を楽しむ ----- ----- -----
体調管理・備え	(記載例) 毎日歩く、銀行口座の整理 ----- ----- -----
治療方針・療養場所	(記載例) 延命治療を希望しない、 最期まで家で過ごしたい ----- ----- -----
心配ごと	----- ----- -----

<発行>
高知県健康政策部在宅療養推進課
〒780-8570高知市丸の内1-2-20
TEL:088-823-9104
mail:131401@ken.pref.kochi.lg.jp



人生会議（元気編）



将来への心づもり のすすめ

人生100年時代



これからをどう生き
どう終わるか

高知県健康政策部在宅療養推進課

自分らしい豊かな
人生のために
今から考えておく
将来への心づもり！

人生～♪
楽しみましょう～♪



1 **人生をより楽しむ**

まだまだ叶う豊かな人生
例えば、

- ・新しいことに挑戦する
- ・趣味を楽しむ
- ・仕事を頑張る
- ・社会貢献に取り組む

など、達成感や充実感を感じながら
これからの人生を楽しみましょう！



2



体力や気力を維持するため、
日頃から適度な運動の実践
や健康的な食事をとることな
どを心がけましょう。



健 康に気をつける
体調を管理する

健康診断やがん検診を欠かさず受診
することや精密検査が必要になった場
合は、速やかに医療
機関を受診しましょう。
体調管理には、
家庭での**血圧測定**
も有効な手段です。



治療中の方は、医療機関
への受診や服薬が不規則
にならないよう心がけましょう。



3

さいご
最 期のことも
考え始める

誰もが命に関わる大きな
病気やケガをする可能性
があります。



命の危険が迫った状態になると、医
療や介護のことで**自分の希望**を伝
えることが難しくなり
ます。



あなたは**もしもの時**、どういった医療
や介護を望みますか？
前もって、信頼できる周囲の人たちと
話し合い、伝えておくことが重要です。



これを「**人生会議**」と言います。



将来に備えて 準備を始める

自分の周りのいろいろなものを
引き継ぐ準備を始めましょう。
元気なうちだからこそ進んで整
理に取りかかりましょう。



まずは、身の回りの整理から。
例えば手紙や写真などの大事
な思い出の品や、使っていない
銀行口座など。

ご自身を振り返る良いきっかけ
にもなります。

あなたの**将来への心づもり**を
自由に書き出してみましょう

日付	年 月 日
氏名	
楽しむこと	(記載例) 趣味を楽しむ ----- ----- -----
体調管理・備え	(記載例) 毎日歩く、銀行口座の整理 ----- ----- -----
治療方針・療養場所	(記載例) 延命治療を希望しない、 最期まで家で過ごしたい ----- ----- -----
心配ごと	----- ----- -----

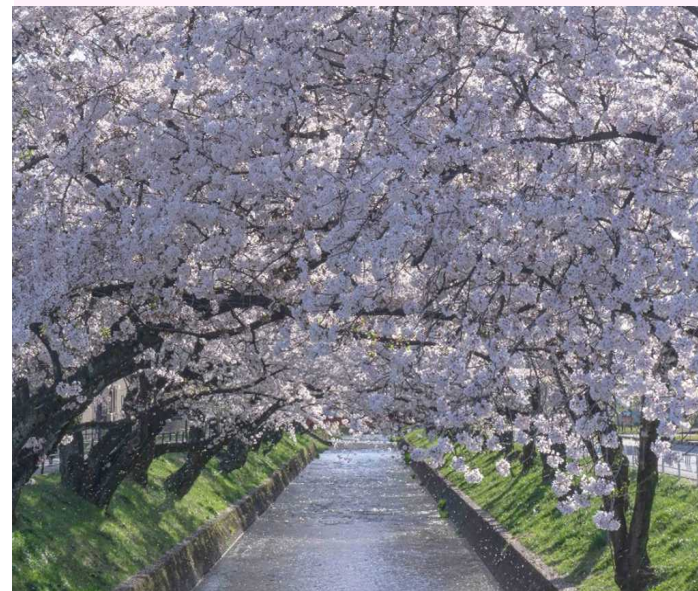
<発行>

高知県健康政策部在宅療養推進課
〒780-8570高知市丸の内1-2-20
TEL:088-823-9104
mail:131401@ken.pref.kochi.lg.jp



課のホームページ
もご覧ください

人生会議（退院編）



将来への心づもり のすすめ

病気と向き合いながら

これからをどう生き

どう終わるか

高知県健康政策部在宅療養推進

病気と向き合いながら
今から考えておく

将来への心づもり！

自分らしい豊かな人生である
ために、今回の退院をきっかけに、自分らしい暮らしを再確認してみませんか。

2

人生をより楽しむ

退院したら、してみたかったこと

例えば、

- ・新しいことに挑戦する
- ・趣味を楽しむ
- ・仕事を頑張る
- ・大切な人との時間を大事にする

など、達成感や充実感を感じながら
これからの人生を楽しみましょう！



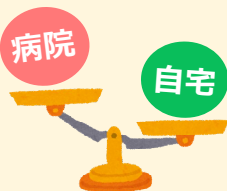
4

資料2-3

誰もが命に関わる大きな
病気やケガをする可能性
があります。

命の危険が迫った状態になると、医
療や介護のことで**自分の希望**を伝える
ことが難しくなります。

あなたは**もしもの時**、どういった医療
や介護を望みますか？



さいご 最期の時のことも 考え始める

前もって、信頼できる周囲の人たちと
病状が悪化した時に**あなたが望む**
医療や介護につい
て話し合い、伝えて
おくことが重要です。

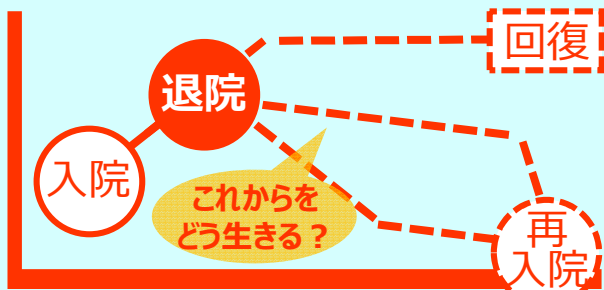


これを「**人生会議**」と言います。

1

退院をきっかけに これからを考える

良↑体調↓悪



現在 ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ 未来

この機会に、これから**“どう生きたいか”**
考えてみましょう。

3

体調管理に より気をつける

治療の継続が必要な方は、
医療機関への受診や服薬
が不規則にならないよう心
がけましょう。



リーフレット 写真（案）

【写真】公益財団法人高知県観光コンベンション協会等

1 景勝地等

吉延の棚田 （本山町）



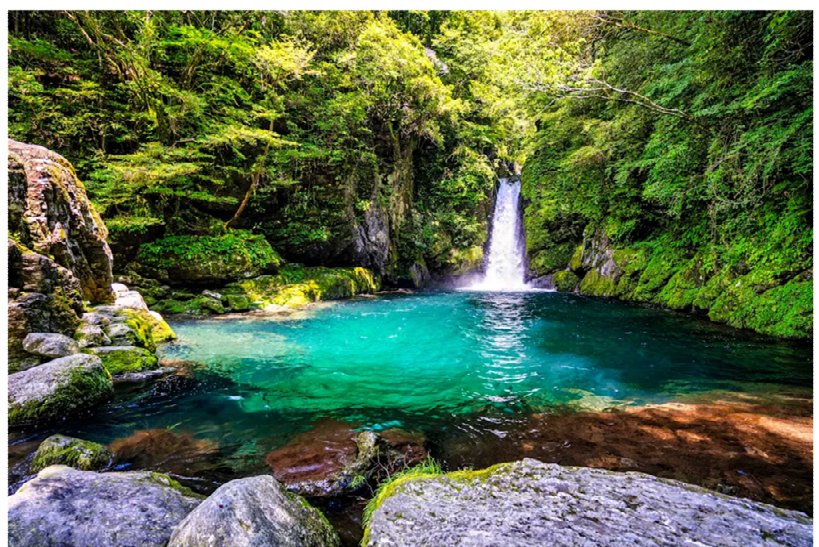
浅尾の沈下橋 （越知町）



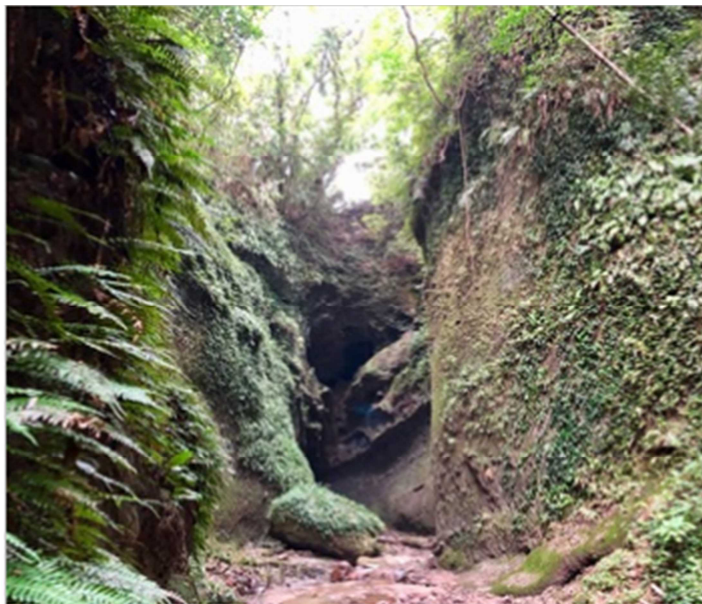
柏島 （大月町柏島）



にこ淵 （いの町）



伊尾木洞 (安芸市)



桂浜 (高知市)



野良時計 (安芸市)



ひょうたん桜 (仁淀川町)



中越家のしだれ桜 (仁淀川町)



引地橋の花桃 (仁淀川町)



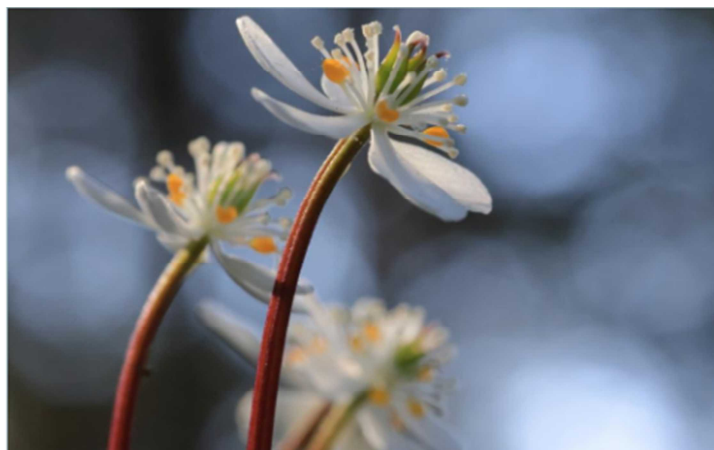
久喜の花桃 (仁淀川町)



バイカオウレン



(牧野公園)



2 観光地

やなせたかし記念館 アンパンマンミュージアム
(香美市)



高知県立牧野植物園 (高知市)



高知城 (高知市)



日曜市 (高知市)



令和 7 年度事業の進捗状況

事業一覧

実態把握		・市町村アンケート調査⇒4月実施 ・住民向け講座における受講者アンケート調査⇒通年 ・リーフレットの見直しに関するアンケート調査⇒4月 ・ケアプラン等のACP項目に関するアンケート⇒7月
人材育成	医療・介護従事者	・相談員研修（国）⇒2回（11月～12月予定） ・指導者研修（国）⇒1回（1月～月予定） （在宅医療等連携研修事業） ・職能団体と連携した研修⇒5回 ①高知県地域医療連携ネットワーク会（5月30日） ②高知県介護支援専門員連絡協議会中央東ブロック（6月24日） ③一般社団法人高知県訪問看護連絡協議会（9月6日、7日） ④一般社団法人高知県訪問看護連絡協議会（9月18日予定） ⑤高知市医師会（10月23日予定） ・医療機関で実施した研修⇒2回 ①温クリニック四万十（6月12日） ②松谷病院（6月12日）
	市町村等	・あったかふれあいセンターコーディネーター研修（県）⇒1回(予定) ・市町村等情報交換会 ⇒6月13日開催 市町村の取組紹介、「人生会議（親子編）」リーフレットを活用した模擬講座など。
県民啓発	無関心期	・ケアプラン策定時の基本情報シート等への項目(人生会議)追加 令和7年市町村福祉・介護保険担当者連絡会議で依頼。（5月23日） ※詳細「資料3-1」のとおり ・企業への訪問活動 県と包括連携協定を締結している企業等へ、社員を対象とした人生会議の研修を実施していただくよう依頼。（親子編を活用） ※詳細「資料3-2」のとおり ・県協力事業者と連携した広報活動 コンビニ等へのリーフレットの配布やデジタルサイネージなどへの掲示。 ※詳細「資料3-3」のとおり ・リーフレットの見直し（元気編、退院編、初級編）及び啓発活動 ①リーフレットの見直し（※詳細「資料2」のとおり） ②リーフレット（親子編）を活用し、協会けんぽと連携した啓発活動を実施。（6月にリーフレット配布依頼済） ・県と包括連携協定を締結している企業への人生会議啓発の働きかけ 企業との包括協定に基づく連携事業の進捗状況及び新規連携事業の提案等の説明会において、人生会議の啓発活動の依頼を実施。 ※締結企業については、別添〈参考資料〉のとおり
	関心期	・県民向け講座 県が講師に係る経費を補助し、人生会議の出前講座等を実施。 出前講座：2回（5月31日、10月26日予定） 住民向け講座：須崎福祉保健所：1回（8月26日） 安芸福祉保健所：1回（1月23日予定）

市町村福祉・介護保険担当者連絡会で依頼した内容

ケアプラン策定時の基本情報シート等に人生会議の項目を追加

【参考例】

基本情報シート

※出典：高知市共通アセスメント様式

【記載例】

- ①自分の意識がはっきりしている場合、終末期であることの説明を受けたいですか
〔 ☐ 受けたい ☐ 受けたくない ☐ どちらともいえない 〕
- ②病状が悪化したり、もしものときが近くなったところで療養したい
〔 ☐ 自宅 ☐ 病院 ☐ 介護施設 ☐ その他 〕
- ③延命治療について
〔 ☐ 生命維持のため最大限の治療をして欲しい。
☐ 病気を治すことを目指した治療を受けたい。
☐ 苦痛を和らげることやこれまでの暮らしを大切にしたい治療を受けたい。 〕
- ④もしものときに伝えたいこと
〔 ☐ できる限り家族にお願いしたい。
☐ 知人や友人にお願いしたい。
☐ ヘルパーなど介護の専門職の人にお願いしたい。
☐ 家族の判断に任せる。 〕

サービス内容	頻度	事業所・ボランティア団体等	特記（TEL・FAX等）
利用しているサービス フォーマル インフォーマル 長女が買い物、ゴミ出し。 長男が様子を見に来る。	1 / 週 1 / 月	長女 長男	同市内。車で15分程度。 隣り町、車で1時間程度。
終末期における本人・家族の意向確認 ACP・リビングウィル等		ACPについては本人、家族共に未確認	

第1表 居宅サービス計画書(1) 作成年月日 年 月 日 ©2018沖縄県介護支援専門員協会

利用者名 殿 生年月日 年 月 日 住所

居宅サービス計画作成者氏名

居宅介護支援事業者・事業所名及び所在地

居宅サービス計画作成(変更)日 年 月 日 初回居宅サービス計画作成日 年 月 日

認定日 年 月 日 認定の有効期間 年 月 日 ~ 年 月 日

要介護状態区分 (要介護) ・ 要介護2 ・ 要介護3 ・ 要介護4 ・ 要介護5

利用者及び家族の生活に対する意向
本人：少し動くことと息切れなどがあり辛いこともあるが、入院はしたくない。家族には負担をかけるが、自分の家でできるだけ過ごしたい。食べられなくても胃ろう等の積極的な医療は望まない。
妻：家族のために頑張ってきたが、本人が家で生活を望むならば、できるだけ本人の希望を優先させたい。しかし、顔がむくんだり息苦しさを訴えると不安になる。その時は、訪問看護師さんや医師に相談できるようにしたい。
長男：父と母の思いを大切にしたいが、自宅まで最後まで介護できるか不安もある。

介護認定審査会の意見及びサービスの種類の指定

総合的な援助の方針
ご本人は慢性心不全が悪化しても入院をすることなく、自宅で暮らしていきたいとの意向が強くある。
訪問診療や訪問看護などの医療的な支援により、病状の安定と家族の不安の軽減を支援していく。
在宅生活の管理が確実にできるため、本人ができるだけ安楽に過ごせるようにする。また、訪問歯科の診療により口腔ケアを行うことで、誤嚥性肺炎の予防に努める。訪問看護にて体調を見ながらシャワー浴や清拭を行うことで気持ちよく過ごせるように支援する。本人の在宅生活継続のためには、本人・家族の疾患に対する不安の軽減を図れるように、相談体制を明確にすることで、家族が安心して在宅介護が可能となり、本人の望む在宅生活の継続を支援していきたい。

生活援助中心型の算定理由 1. 一人暮らし 2. 家族等が障害、疾病等 3. その他 ()

在宅サービス計画について説明を受け、内容に同意し交付をうけました。 説明・同意日 年 月 日 利用者同意欄 印

居宅サービス計画書
(参考例)

ケアプラン等のACP項目に関するアンケート結果

調査対象：市町村（奈半利町、田野町、安田町、北川村、馬路村は中芸広域連合）

調査内容：各市町村内の居宅介護支援事業所等で

ケアプラン等の様式にACP項目が入っているかを調査

調査対象	30
事業所総数	291

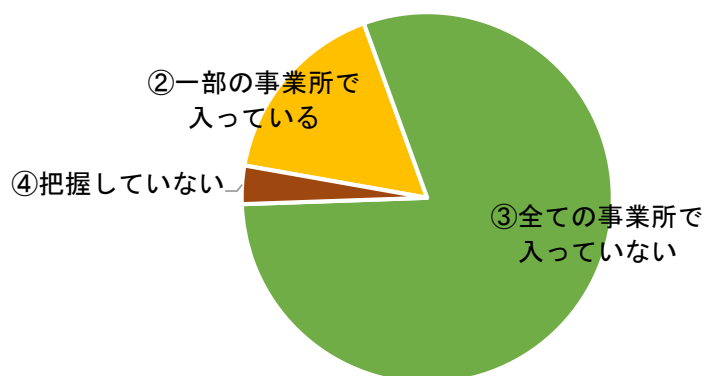
	市町村等	事業所数
1	高知市	127
2	室戸市	8
3	安芸市	9
4	南国市	10
5	土佐市	8
6	須崎市	7
7	宿毛市	5
8	土佐清水市	5
9	四万十市	13
10	香南市	12

	市町村等	事業所数
11	香美市	10
12	東洋町	2
13	中芸広域連合	5
14	芸西村	4
15	本山町	3
16	大豊町	2
17	土佐町	3
18	大川村	1
19	いの町	13
20	仁淀川町	2

	市町村等	事業所数
21	中土佐町	3
22	佐川町	2
23	越知町	3
24	梶原町	2
25	日高村	2
26	津野町	2
27	四万十町	20
28	大月町	2
29	三原村	2
30	黒潮町	4

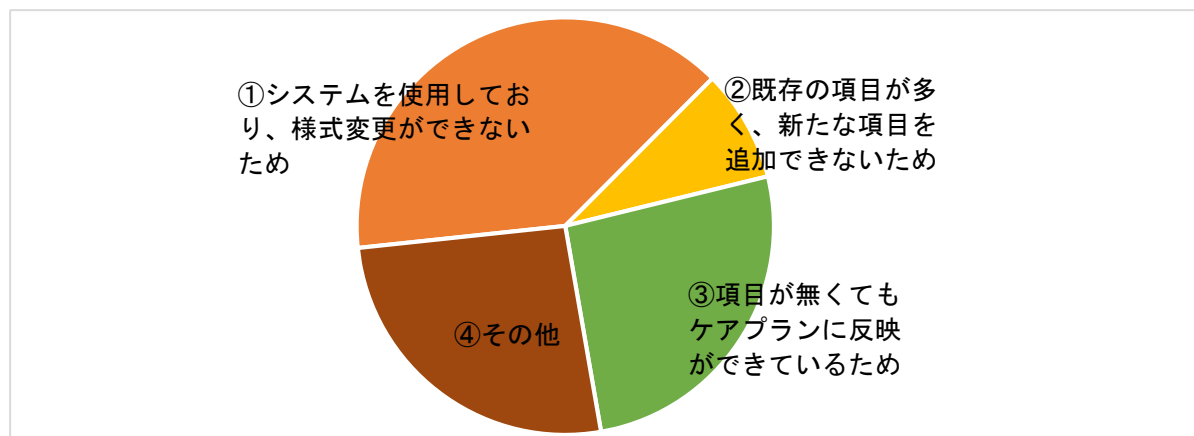
1. ケアプラン等の様式にACP項目が入っているか

①全ての事業所で入っている	0
②一部の事業所で入っている	5
③全ての事業所で入っていない	24
④把握していない	1



2. ケアプラン等の様式にACP項目を入れることが難しい理由（重複あり）

①システムを使用しており、様式変更ができないため	18
②既存の項目が多く、新たな項目を追加できないため	4
③項目が無くてもケアプランに反映ができているため	12
④その他	12



その他の意見（重複あり）

ACP項目は無いが本人や家族の意向欄やアセスメントにACP内容を記載する事は可能	5
備考欄、総合的な援助の方針、本人の意向に記載している。	3
必要に応じてケアプランに反映できている。	3
入院時情報提供書にACP項目が入っている。	2
別資料を使って取っている。	2
医療機関が確認しているリビングウィルを共有している。	1
支援に反映しているが項目は追加していない。	1

3. ケアプラン等の様式にACP項目を追加するために必要な支援

ACPの認知度向上（本人や家族の理解）	10
様式例（チェック項目等）や運用手順の提示	8
取組事例の紹介や研修会（ケアマネ更新研修等）	8
ケアプラン様式（標準様式）の変更・全国統一	6
ケアマネ主導は難しい。医療側に主導して欲しい。	4
各ソフト会社へ働きかける。システムに入力枠ができる。	3
ケアプラン点検チェック項目にACP項目を加えて働きかける。	2
システム改修への支援	2
エンディングノートなどを発行してもらえると聞き取りしやすい	1
認定調査時に聞く機会があるとよい。	1
ケアプラン作成時にACPについて質問することを周知して欲しい。	1
ACPを策定することで加算が算定できるなど労力に応じた報酬が必要	1

企業への訪問活動

1. 目的

県と包括連携協定を締結している企業等を訪問し、ACP 研修に関する講師派遣（出前講座）の紹介を行い、企業内での職員向け研修の実施につなげる。

2. 訪問企業数（令和 7 年 7 月より開始）

6 社

ニッポン高度紙工業	住友生命保険相互会社
ナンコクスーパー	四国銀行
社会福祉法人香南会	入交グループ本社

3. 企業の反応

- ・研修担当者の「人生会議」の認知度は低い。
- ・業種により業務特有の必須研修はあるものの、一般企業における義務研修は無し。福祉施設等では義務研修として虐待研修やハラスメント研修有り。
（⇒公務員のように義務研修に組み込んでもらうことはできない。）
- ・社内研修としては、コンプライアンスやハラスメント等の法的に努力義務の研修や、業務力向上を目的としたものを主体としている。
- ・金融系の業種では一定の親和性があり、研修として有効な可能性がある。
- ・介護休業や介護保険などとセットにした研修として検討ができるかもしれない。
- ・企業内研修は難しいが公開講座などがあれば参加を促したい。

4. 課題

- ・ACP は企業の業績などに直接つながりにくいテーマであり、ACP 単体での研修の導入は難しいと考える企業が多い。

5. 今後の対策

- ・介護やライフステージなどをテーマにした他の研修とセットで提案する事も検討
- ・親和性の高い業種に絞った企業への営業を行う。
- ・集合型の研修だけでなく、オンラインや動画配信など、各企業の要望に合わせた研修として活用できる素材を充実させて提案を行う。
- ・市町村や独立行政法人等の義務研修（人権研修）の有無について確認し、研修テーマとして提案していく。

6. その他

- ・企業への訪問活動で使用した資料（別紙 1）
- ・高知県との包括協定企業一覧（参考資料）

企業の皆様へ

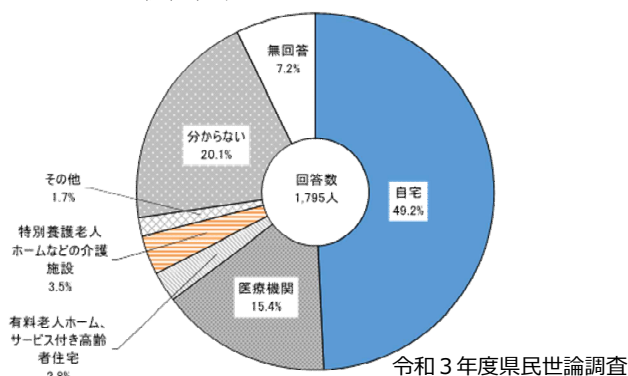


「人生会議」をテーマにした講習を 研修に取り入れてみませんか

人生会議とは

「人生会議」とは、アドバンス・ケア・プランニング（Advance Care Planning）の愛称です。人生の最終段階に、どのような医療やケアを受けたいかについて、元気なうちに考え、大切な人と話し合うことを言います。

約5割が「自宅」で
最終段階を迎えたいと回答



命の危険が迫った状態になると、約70%の方が自分で意思決定ができないといわれています。

両親のことが気になり出す子世代として、職員の皆様に、人生会議を知っていただくことで、両親の思いを確認するきっかけにしていきたいと考えます。

県では

無料

「人生会議」の講師を派遣しています（出前講座）

講師に対する謝金を県よりお支払いいたします。

研修例

＜例1＞ 所要時間 60分

講習	40分
質疑	20分

＜例2＞ 所要時間 90分

講習	30分
質疑	10分
休憩	10分
グループワーク	40分

上記は一例です。集合型の研修以外にもオンラインや動画などご要望に合わせて、研修をオーダーメイドいたします。

お問い合わせ先

高知県健康政策部 在宅療養推進課 高知市丸ノ内1丁目2番20号

TEL：088-823-9104

担当：蒲原・三谷

高知県との包括協定企業一覧

協定 番号	協定年 月日	協定先	協定 番号	協定年 月日	協定先
1	H19.10.31	株式会社ローソン	25	H29.9.7	佐川急便株式会社
2	H21.7.27	株式会社ファミリーマート	26	H29.10.5	株式会社伊藤園
3	H22.3.8	株式会社四国銀行	27	H29.10.6	大塚製薬株式会社
4	H23.7.14	イオン株式会社	28	H29.12.20	株式会社NTTドコモ
5	H23.8.4	西日本高速道路株式会社	29	H30.1.9	あいおいニッセイ同和損害保険株式会社
6	H24.1.13	株式会社高知銀行	30	H30.1.17	第一生命保険株式会社
7	H24.8.2	幡多信用金庫	31	H30.3.14	近鉄グループホールディングス株式会社
8	H24.8.29	株式会社フジ・リテイリング	32	H30.4.9	株式会社モンベル
9	H24.12.13	国立大学法人高知大学	33	H30.4.22	株式会社スノーピーク
10	H25.11.29	カゴメ株式会社	34	H30.4.24	日本生命保険相互会社
11	H26.7.22	富士通株式会社	35	H30.9.10	株式会社サニーマート
12	H27.3.24	ヤマト運輸株式会社	36	H30.10.12	株式会社フジドリームエアラインズ
13	H27.7.9	株式会社日本政策金融公庫	37	H31.3.28	高知信用金庫
14	H28.3.29	東京海上日動火災保険株式会社	38	R元.7.16	株式会社商工組合中央金庫
15	H28.3.30	損害保険ジャパン日本興亜株式会社	39	R2.11.18	日本郵便株式会社
16	H28.5.13	三井住友海上火災保険株式会社	40	R4.1.28	小林製薬株式会社
17	H28.8.22	日本航空株式会社	41	R4.4.20	株式会社シニアライフクリエイト
18	H28.8.29	株式会社リクルートホールディングス	42	R5.4.17	株式会社ロゴスコポーレーション
19	H28.11.4	株式会社セブン-イレブン・ジャパン	43	R6.9.17	(株)松屋
20	H28.11.14	ミキハウス子育て総研株式会社	44	R6.11.11	(株)ポケモン
21	H29.2.22	A N A ホールディングス株式会社	45	R7.2.17	住友生命保険相互会社
22	H29.3.29	リコージャパン株式会社	46	R7.4.18	サントリーホールディングス(株)
23	H29.6.23	公益社団法人経済同友会 土佐経済同友会	47	R7.4.18	(大)高知大学
24	H29.8.24	明治安田生命保険相互会社			

県協力事業者と連携した広報活動について

1. 概要

県の協力事業者と連携して、県内のコンビニエンスストアやラジオ、デジタルサイネージなどを利用して、人生会議の認知度向上などを目的に、各種広報活動を実施しており、以下の（１）から（４）について、人生会議の広報素材を応募。

2. 主な広報媒体

（１） コンビニエンスストア等へのリーフレット配布（毎月募集）

配布先：ローソン、ファミリーマート、セブンイレブン、イオン、サニーマートでのパンフレット・チラシコーナーでの配布

○パンフレットやチラシの数、その月の県全体の配布数により配布先を決めているので、指定の店舗での配布はできないが、幅広い年齢層への広報が期待できる。

（２） デジタルサイネージ（毎月募集）

高知市内２箇所での無償協力事業者による動画の掲載（15秒から30秒）

○市街地などで歩いている時や信号待ちの際に、ふっと目にする広告媒体。

○短い時間で通行人の目を引くことができれば効果大。

（３） ラジオの読み上げ（毎月募集）

平日の朝若しくは夕方に放送

○車を仕事で使う人や農家の方などはラジオを聞くことが多い。

①高知放送（高知県からのお知らせ）：月～金（9:50～9:55）、土（9:55～9:59）

②FM高知（高知県からのお知らせ）：月～木（16:45～16:50）

（４） テレビの読み上げ（毎月募集）

平日の夕方に放送

○テロップ付きで流せるので、広報効果がある。

①テレビ高知（県民ニュース）：月・水（18:55～18:58）

②高知さんさんテレビ（知っとく高知県）：火・木（18:40～18:43）

3. 手続きについて

県の広報広聴課より募集の案内があるので、在宅療養推進課より各種資料を作成し、広報広聴課へ依頼。⇒広報広聴課で、各部署から応募のあった素材を取りまとめ採用素材を決定。

4. 実績（令和7年6月から開始）

○6月⇒リーフレット（初級編）120部をコンビニエンスストアへ配布。

○7月⇒リーフレット（初級編）60部をコンビニエンスストアへ配布。

○8月⇒リーフレット（初級編）100部をコンビニエンスストアへ配布。

○デジタルサイネージは、6月からの放映を依頼（事業者判断で放映を実施）

○テレビ、ラジオの読み上げについては、不採用。

5. 令和7年度下半期以降の方針

上記（１）～（４）への応募を引き続き実施するとともに、令和8年度についても継続。

令和 8 年度事業計画（案）

計畫一覽

実態把握		・市町村アンケート調査⇒1回 ・県民世論調査⇒7～8月実施	
人材育成	医療・介護従事者	・指導者研修（国）⇒1回（仮） ・相談員研修（国）⇒2回（仮） ・職能団体と連携した研修（在宅医療等連携研修事業）⇒5回	
	市町村等	・あったかふれあいセンターコーディネーター研修（県）⇒1回 ・市町村等情報交換会⇒1回	
県民啓発	無関心期	・ケアプランへのACP項目追加 項目追加のために必要な支援（様式の提供、広報や研修会など）を実施 ・企業への訪問活動⇒30社 企業等の社員を対象とした研修を実施していただくよう各企業への働きかけを実施。 ・啓発リーフレットの活用 令和7年度に見直した各種リーフレット（元気編、退院編、初級編）を活用して啓発普及を図る。 ・県協力事業者と連携した広報活動 コンビニ等へのリーフレットの配布やラジオなどでの読み上げ、デジタルサイネージへの掲示等。	
		関心期	子世代
	高齢者		・出前講座：8回程度

[illegible]